



2009年7月7日

癌治療薬 CBP501 の非小細胞肺癌を対象とした臨床第2相試験の開始について

株式会社キャンバス(静岡県沼津市、以下「キャンバス」と武田薬品工業株式会社(大阪市、以下「武田薬品」)は、このたび、癌治療薬 CBP501 の非小細胞肺癌(NSCLC)に対する臨床第2相試験を開始しましたので、お知らせいたします。

CBP501 は、癌細胞における細胞周期の進行を阻害し、癌細胞死を促進する作用を有しています。臨床第1相試験において、CBP501 と特定の抗癌剤を併用することにより、抗癌活性が高まるデータが得られています。

キャンバスと武田薬品は、2007年3月、キャンバスが創製した癌治療薬 CBP501 およびそのバックアップ化合物に関する共同事業化契約を締結しています。同契約により、武田薬品は、これら化合物の全世界を対象とした独占的開発・製造・販売権を獲得しており、米国においてはキャンバスおよび武田薬品が共同で開発および販売を実施します。2008年11月にはCBP501 について、悪性胸膜中皮腫を対象とした臨床第2相試験を米国で開始しています。

なお、米国における開発は、武田薬品の100%子会社であるミレニアム社とキャンバスが共同で実施しています。

キャンバス 代表取締役社長 河邊拓己は、「キャンバスは新たな癌治療薬の創製に注力しており、非小細胞肺癌を対象にCBP501 の臨床第2相試験を開始できることを嬉しく思います。悪性胸膜中皮腫に加えて、非小細胞肺癌の効能についても開発を鋭意進めてまいります」と述べています。

ミレニアム社 Oncology Clinical Research の Vice President である Anthony Boral は、「CBP501 の開発が順調に進んでいることを大変嬉しく思います。今後もキャンバスとの良好なパートナーシップのもと、癌生物学における我々の知見を活用し、癌と戦うための新たな治療法を確立し、患者さんにお届けできるよう取り組んでまいります」と述べています。

(本件に関する問い合わせ先)

株式会社キャンバス
管理部
Tel: 055 - 954 - 3666
Fax: 055 - 954 - 3668

武田薬品工業株式会社
コーポレート・コミュニケーション部(広報・IR)
Tel: 03 - 3278 - 2037
Fax: 03 - 3278 - 2741

<キャンバスについて>

キャンバスは、細胞周期に関する研究成果をもとに2000年に設立された創薬バイオベンチャーです。正常細胞に影響が少ない抗癌剤を一日も早く患者さんにお届けすることが、当社の事業目的です。

詳細については <http://www.canbas.co.jp/>をご覧ください。

<武田薬品について>

武田薬品は研究開発型の世界的製薬企業を目指して、自社研究開発を強化するとともに、ライフサイクルマネジメントの推進、導入・アライアンスの積極展開を通じて研究開発パイプラインの充実を図るとともに、経営理念である『優れた医薬品の創出を通じて人々の健康と医療の未来に貢献する』の実現に努めています。

詳細については、<http://www.takeda.co.jp/>をご覧ください。

以上